

関西学院大学 研究成果報告

2024年 5月 21日

関西学院大学 学長殿

所属：法学部
職名：教授
氏名：望月康恵

以下のとおり、報告いたします。

研究制度	<input checked="" type="checkbox"/> 特別研究期間 <input type="checkbox"/> 自由研究期間 <input type="checkbox"/> 大学共同研究 <input type="checkbox"/> 個人特別研究費 <input type="checkbox"/> 博士研究員 ※国際共同研究交通費補助については別様式にて作成してください。
研究課題	国際的な刑事司法機関によるガバナンスの機能の検討
研究実施場所	関西学院大学法学部
研究期間	2023年 4月 1日 ～ 2024年 3月31日（12ヶ月）

◆ 研究成果概要 （2,500字程度）

上記研究課題に即して実施したことを具体的に記述してください。

2023年度特別研究期間において、研究課題に関して以下のとおり研究を進めた。

第一に、刑事司法機関およびガバナンスに関して既存の研究について確認し、理解を深めた。国際社会のガバナンスと関連する思想をめぐる研究を検討し、書評として公表した（西海洋志著『保護する責任と国際政治思想』『国連研究』第24号2023年6月161-165頁）。

第二に、ガバナンスにおける人権規範の意義について検討を試みた。人権規範は、紛争後の平和構築のプロセスにおいて必要不可欠な要素と捉えられ、紛争後の和平協定、紛争後の制度構築において基礎とされる。たとえば、紛争後には、民主的な政府が設立され、裁判所の設立においても人権規範が設立根拠規定に含まれることが、国際社会の潮流である。その際に、一方では、国際社会からの支援により、国際人権規範を現地社会に定着させることが想定されるが、他方で、紛争後に構築される制度が現地主導で行われる場合には、国際人権規範の定着が、国際社会が想定したようになされない場合もあることが懸念される。現地主導による社会の構築は、民主的なプロセスとして歓迎されるが、その一方で、紛争下での人権侵害行為に関わったことが疑われる指導者の行為について、紛争後に設立された司法制度において不問とされることにより、当該指導者が引き続き指導的な地位に就く実行もみられる。「平和構築における国際人権規範—国家に対する作用—」（小畑郁・山元一編著『新国際人権法講座第2巻 国際人権法の理論』（信山社 2023年12月 105-122頁）において、国際人権規範が、紛争後の国家のガバナンスにおいてどのような作用を有するのか、また国際人権規範の国家への定着、裁判所の役割と課題について考察した。論文においては、紛争を経た国家が新たな統治機構を設立する際に、国際人権規範が組み込まれることにより、民主的な制度が構築される状況と、かつての紛争当事者の行為について不問とされることにより、人権規範が定着しない実態について分析を行った。

第三に、人権侵害行為者に対する刑事司法機関における訴追処罰の可能性に関して、普遍的管轄権の原則に関して考察を進めた。重大な人権侵害行為者をその地位にかかわらず、不処罰としないことが国際社会における正義の追及として求められてきているが、国際社会の取り組みは国家の管轄権行使の保管であるが、国際人権規範の発展は、普遍的管轄権の拡大をもたらしたと論じられている。犯罪行為との直接のリンクを持たない国家が、犯罪行為者を訴追し処罰することの可能性について、検討を行った。この重大犯罪に対する普遍的管轄権の行使に関しては、一方では欧州を中心に普遍的管轄権を行使する事例が増えているが、その一方で、訴追の対象となる被告が、アフリカ地域または中東地域の指導者であることについて、批判もある。またアジアにおいては、ミャンマーにおける軍事クーデターとそれに伴い生じた少数民族および市民への迫害と大量虐殺に対して、被害を受けた人々が、ミャンマーと直接のリンクを持たない国家において、軍事指導者たちの人権侵害行為について申し立てを行っている。この事例は、普遍的管轄権の実行の観点からも、また国際法、国際関係論、国際機構論の研究分野からも関心を集めている。この普遍的管轄権をめぐる研究については、引き続き研究を行い、2024年5月に国際学会で報告予定である。

以上

提出期限：研究期間終了後2ヶ月以内

※個人特別研究費：研究費支給年度終了後2ヶ月以内 博士研究員：期間終了まで

提出先：研究推進社会連携機構（NUC）

※特別研究期間、自由研究期間の報告は所属長、博士研究員は研究科委員長を経て提出してください。

◆研究成果概要は、大学ホームページにて公開します。研究遂行上大学ホームページでの公開に支障がある場合は研究推進社会連携機構までご連絡ください。